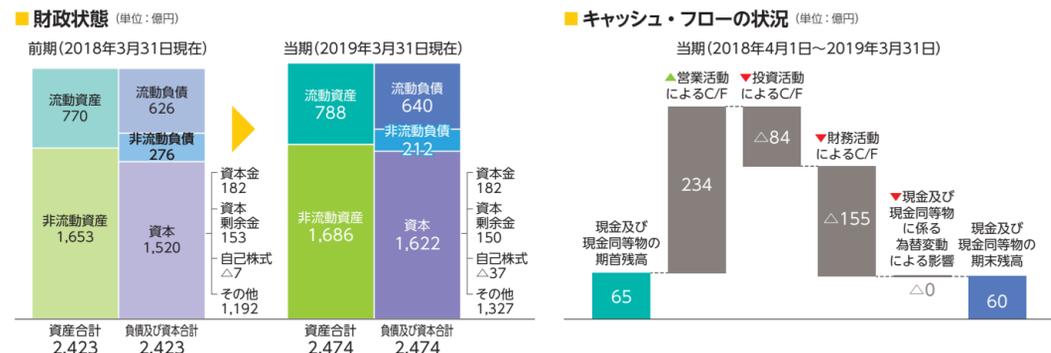


● 連結財務ハイライト

科目	第104期 (2016年度)	第105期 (2017年度)	第106期 (2018年度)
売上収益	(億円) 1,323	1,473	1,483
営業利益	(億円) 93	130	172
税引前利益	(億円) 90	127	174
親会社の所有者に帰属する当期利益	(億円) 70	97	139
基本的1株当たり当期利益	(円) 407.38	507.48	679.55
資産合計	(億円) 2,349	2,423	2,474
資本合計	(億円) 1,260	1,520	1,622
親会社の所有者に帰属する持分	(億円) 1,243	1,502	1,606
親会社所有者帰属持分比率	(%) 52.9	62.0	64.9
1株当たり親会社所有者帰属持分	(円) 7,232.89	7,271.67	7,922.58



※ 億円単位の金額は、端数を四捨五入して表示しております。

■ 第106期剰余金の配当(期末配当)に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としております。
2019年4月23日開催の当社取締役会において、第106期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の期末配当は、普通配当85円に10円の記念配当を加えた1株当たり95円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金(円)

	105期	106期
中間	55	70
期末	70	95
年間	125	165

● 会社概要 / 株式の状況

会社の概要 (2019年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 18,169百万円
 グループ従業員数 4,299名(単独:1,808名)
 連結対象会社数 32社(連結子会社29社、持分法適用会社3社)
 ホームページ <https://www.kureha.co.jp/>

役員 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長 小林 豊
 取締役常務執行役員 佐藤 通浩
 取締役常務執行役員 野田 義夫
 社外取締役 戸坂 修
 社外取締役 尾越 忠夫
 常勤監査役 吉田 徹
 常勤社外監査役 桐山 勝
 社外監査役 押味 由佳子
 常務執行役員 西畑 直光
 常務執行役員 陶山 浩二
 執行役員 田中 宏幸
 執行役員 名武 克泰
 執行役員 米澤 哲
 執行役員 並川 昌弘

株式の状況 (2019年3月31日現在)

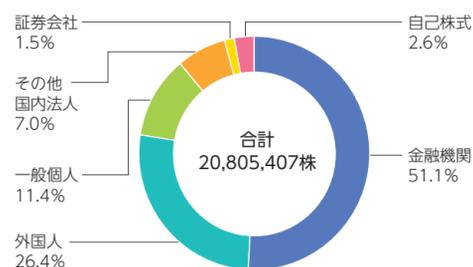
発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式総数 20,805,407株
 株主数 10,467名

大株主の状況 (2019年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,341	11.6
明治安田生命保険相互会社	1,374	6.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,269	6.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	849	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	650	3.2
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	401	2.0
株式会社みずほ銀行	400	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	354	1.8
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	341	1.7
J.P. MORGAN CHASE BANK 385151	301	1.5

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。
 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2019年3月31日現在)



● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
 (https://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html)
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1
 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

- お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- お取扱店 みずほ証券およびみずほ信託銀行^(※)
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
- 未払配当金のお支払 みずほ信託銀行^(※)およびみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

クレハレポート
KUREHA REPORT

第106期 期末報告書
 2018年4月1日 ≫ 2019年3月31日

トップメッセージ ≫
 変革への挑戦で
 新たな価値を

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

証券コード: 4023

変革への挑戦で新たな価値を

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第106期期末（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 **小林 豊**

》 当期の概況について

当期のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が継続しました。一方で、世界経済は、地政学的リスクや貿易摩擦により先行き不透明な状況にありました。

当社におきましては、中期経営計画[Kureha's Challenge 2018]に沿った事業運営を推進し、売上収益は前期並みの1,482億65百万円となりましたが、付加価値の高い機能製品の販売拡大により、営業利益は前期比32.4%増の171億72百万円、税引前利益は同37.5%増の174億35百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同43.7%増の139億33百万円となりました。

期末配当金は、中間配当金に比べて1株当たり15円増配の1株当たり85円とし、さらに2019年6月に創立75周年の節目の年を迎えることから10円の記念配当を加えさせていただきます。

》 「Kureha's Challenge 2018」の振り返りとストレッチ(延長)について

“将来のクレハの発展に向けた土台づくりの期間”として位置付けた[Kureha's Challenge 2018](以下、中計2018)の最終年度となった当期におきましては、「製品差別化」と「新事業創出」の実現に向けて全社一丸となって取り組んだ結果、営業利益は171億72百万円となり、中計2018の定量計画(営業利益140億円)を大幅に上回ることができました。これにより営業利益率は11.6%となり、“スペシャリティ・カンパニー”の名に恥じない水準に高めることができました。

この収益力の向上は、リチウムイオン電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂(以下、PVDF)の伸長や、シェールオイル・ガス掘削用途のPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品(以下、PGA)の販売拡大による損失の縮小などから機能製品事業の利益が拡大したこと、そして改革推進プロジェクトによるコスト削減効果も加え、継続的に利益を生み出す事業基盤の構築を進めたことによるものです。

中計2018の3年間を総括いたしますと、定量計画の超過達成については評価し得るものの、重点施策として掲げてきた“PGAの事業拡大”、“新規事業創出”、“経営基盤の強化”については未達成の部分があり、当社の目指すありたい姿に対しては“道半ば”にあると認識しております。こうした振り返りの中で、中計2018で

掲げた経営目標の完遂があつてこそ、次なる時代の繁栄があるとの考えのもと、中計2018を2年間ストレッチし、積み残された重点施策の完遂とともに、地球環境問題やデジタル革命など、事業環境の変化を踏まえた新たな課題に着手することとしました。

》 「Kureha's Challenge 2020」について

当社グループは、2020年度までの中期経営計画として、新たな経営目標を設定した[Kureha's Challenge 2020](以下、中計2020)を策定し、“将来の発展に向けた土台を固める期間”との位置付けのもと、本年4月より事業運営を開始しています。

この中計2020では、引き続き「製品差別化」と「新事業創出」を基本的なコンセプトとし、“PGA事業の拡大と利益創出”、“PVDF事業の更なる拡大”、“既存事業のビジネスモデル最適化”、“新規事業の国内外における探索と育成”、“経営基盤の強化”の5つの経営目標の達成に向けて取り組んでまいります。

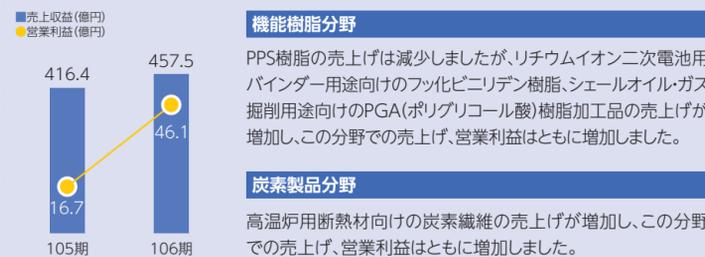
定量計画としては、売上収益1,570億円、営業利益180億円、親会社の所有者に帰属する当期利益140億円、ROE(自己資本利益率)8%の達成を目指します。2018年度実績に比べると大きな増加ではありませんが、機能製品事業をコアとする事業ポートフォリオへの変革を進め、高付加価値企業として飛躍する土台を固めてまいります。

また、中間年にあたる2019年度は、売上収益は1,520億円、営業利益は260億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は195億円とし、2018年度に対し、増収・増益を予想しております。営業利益の大幅な増加は、2019年度に東京都新宿区にある本社別館の土地譲渡を予定しており、営業利益の内数となる“その他の収益”に譲渡益を計上することによるものです。

私たちクレハは、ステークホルダーの皆様へのコミットメント(約束)を果たし、信頼を積み重ねていくことに拘りを持ち、中計2020で掲げた経営目標の完遂と定量計画の達成に向けて取り組んでまいります。

当社は、これからも、「技術立社」企業としての存在感を高め、新たな価値を創出し社会に貢献し続ける高付加価値型企業となることを目指してまいります。

機能製品事業 売上収益 457.5億円 (前期比109.9%)

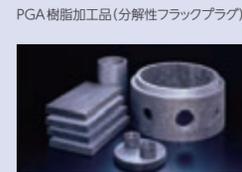


機能樹脂分野

PPS樹脂の売上は減少しましたが、リチウムイオン二次電池用バインダー用途向けのフッ化ビニリデン樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

炭素製品分野

高温炉用断熱材向けの炭素繊維の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



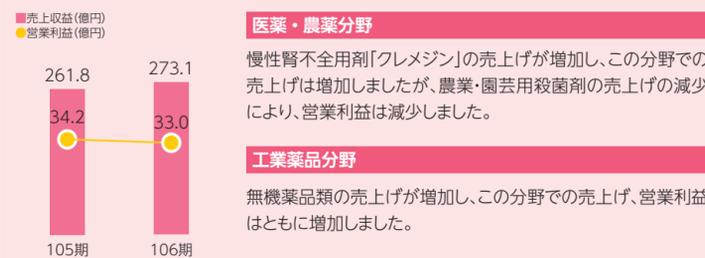
PGA樹脂加工品(分解性フラックブラク)



炭素繊維(断熱材)



化学製品事業 売上収益 273.1億円 (前期比104.3%)



医薬・農薬分野

慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げが増加し、この分野での売上げは増加しましたが、農業・園芸用殺菌剤の売上げの減少により、営業利益は減少しました。

工業薬品分野

無機薬品類の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



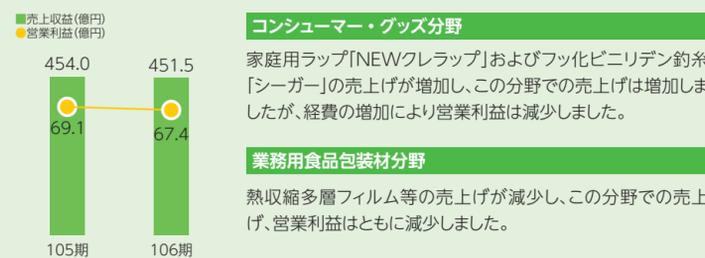
慢性腎不全用剤「クレメジン」



農業・園芸用殺菌剤



樹脂製品事業 売上収益 451.5億円 (前期比99.5%)



コンシューマー・グッズ分野

家庭用ラップ[NEWクレラップ]およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げは増加しましたが、経費の増加により営業利益は減少しました。

業務用食品包装材分野

熱収縮多層フィルム等の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。



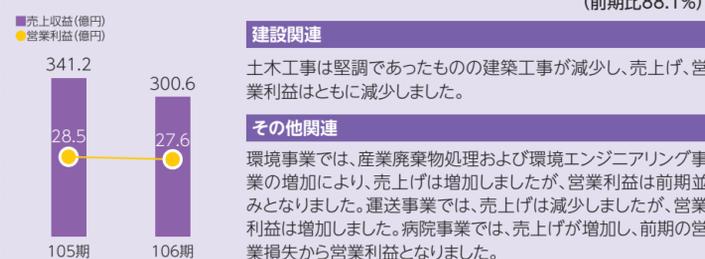
家庭用ラップ[NEWクレラップ]



熱収縮多層フィルム



建設関連事業とその他関連事業 売上収益 300.6億円 (前期比88.1%)



建設関連

土木工事は堅調であったものの建築工事が減少し、売上げ、営業利益はともに減少しました。

その他関連

環境事業では、産業廃棄物処理および環境エンジニアリング事業の増加により、売上げは増加しましたが、営業利益は前期並みとなりました。運送事業では、売上げは減少しましたが、営業利益は増加しました。病院事業では、売上げが増加し、前期の営業損失から営業利益となりました。



建設関連事業(クレハ鉤建設)



環境事業(クレハ環境)



TOPICS

ピンクリボンフェスティバル2018 「スマイルウオーク」に特別協賛

10月8日(神戸)と10月13日(東京)に開催された「ピンクリボンフェスティバル2018」(主催:日本対がん協会、朝日新聞社ほか)の「スマイルウオーク」に特別協賛しました。当社は「家庭の主役である女性をサポートしたい」そんな想いから、2009年より「NEWクレラップ」に、2010年より「キチントさん」シリーズ商品にピンクリボンマークを付け、売上げの一部を日本対がん協会の「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付しています。「スマイルウオーク」当日は参加された延べ5千人の方にピンクリボンオリジナルパッケージの「NEWクレラップ」を配布し、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えました。



理科授業支援

当社は1999年より、いわき事業所の近隣の小学生を対象に「化学の楽しさ、未来への可能性」を伝えるため、従業員による理科授業を展開してきました。例年各校を訪問して行っていた授業支援ですが、今回は「クレハをもっと知ってもらおう」と、子供たちをいわき事業所に招き授業を行いました。水溶液のpH測定や中和実験、「NEWクレラップ」やビエソフィルムなどのクレハ製品を使った実験を行い、子供たちに化学の面白さを伝えました。



2019年6月25日
東京都中央区日本橋浜町3-3-2

株式会社 **クレハ**

代表取締役社長 小林 豊

第106回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月25日開催の第106回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報告事項**
- 第106期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第106期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）計算書類報告の件

- 決議事項**
- 第1号議案 取締役5名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、小林 豊、佐藤 通浩、野田 義夫、戸坂 修、尾越 忠夫の5名が再選、重任いたしました。
- 第2号議案 監査役2名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、桐山 勝、押味 由佳子の2名が新たに選任、就任いたしました。
- 第3号議案 補欠監査役1名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、森川 伸吾が新たに選任されました。
- 第4号議案 取締役に対する賞与支給の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、当期の業績等を勘案し、業績連動賞与として、社外取締役を除く当期末の取締役3名に対し、総額62,000千円の役員賞与を支給します。